

発行：墨田区(地域活動推進課)
〒130-8640 墨田区吾妻橋一丁目23番20号
☎03-5608-6202 FAX 03-5608-6934 ✉KATSUDOSUISHIN@city.sumida.lg.jp



バックナンバーは
こちらから



日常の風景

隅田川の流れや、昔から続く商店街のたたずまい、町工場の音、スカイツリー周辺の賑わい。私たちが毎日目にしている墨田の風景は、あまりに身近であるがゆえに、その面白さや価値に気づかずに通り過ぎていくのかもしれない。

見方を変える

今年の秋から冬にかけて、墨田区主催の「すみだ五彩の芸術祭」が区内各所で開催されます。芸術祭というと、難しそう、若い人向けではないか、と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし本芸術祭が目指しているのは、アートの特別な知識がなくても楽しめる、「見方を変える体験」です。

アートの革命

そのヒントを与えてくれた人物が、フランスの芸術家マルセル・デュシャンです。彼は1917年、男性用の小便器（新品です）に署名をして《泉》という作品を発表しました。既製品を買っただけで、自分が作ったわけでもないですし、しかも便器！です。「こんなものが芸術なのか」と当時も大きな議論を呼びました。しかしこの出来事

は、芸術の歴史に大きな転換をもたらします。芸術とは、絵画や彫刻といった立派なものを作ることだけではなく、「ものを見方を変えること」でもあると示したからです。便器を、用を足すための道具として見るのではなく、造形的に面白いものとして見ることもできるでしょう？とデュシャンは投げかけたのです。デュシャンは「現代アートの父」と呼ばれてもいます。



マルセル・デュシャン《泉》1917年

アートの力

私たちの身の回りには、すでに多くのものが存在しています。それを普通はアートとして見ないけれども、少し角度を変えて眺めると、これまで気づかなかった魅力や意味、あるいは物語が立ち現れてきます。現代において芸術の力とは、そのよ

が、その背景にはこうした芸術の価値の転換があったのです。

すみだのうわさ

すみだ五彩の芸術祭のプレイベントとして行われた山本耕一郎さんの「すみだのうわさプロジェクト」も、まさにその実践でした。地域の中にある小さなうわさや物語、人々の記憶を集め、それを吹き出しにして街中に展開する作品です。何気ない記憶や日常の出来事が、新しい光を帯びて見えてくる。そこに、墨田というまちを再発見するきっかけが生まれるはずですよ。



山本耕一郎

《すみだのうわさプロジェクト》

2025年

芸術祭のプレイベントとして隅田公園で制作され、会期中も継続される。街の潜在的なストーリーを、吹き出しで可視化することで、街の見方が変わっていく。

地域との関係を更新

日本各地で2000年以降に広がった芸術祭も、単なる展示の場ではありません。アートを通じて地域を見つめ直し、人と人とのつながりを、人とその土地との関係を生み出し、あるいは更新する場として育まれてきました。「すみだ五彩の芸術祭」もまた、墨田の歴史や文化、今を生きる私たちの姿を、あらためて感じ、捉え直す機会となるでしょう。

作品と出会う

芸術は遠い世界のものではありません。私たちの足元にある風景の中にこそ、その芽は潜んでいます。すみだ五彩の芸術祭では、たくさんの方のアーティストたちの作品を区内各所で展示いたします。芸術祭で多くの作品と出会うことをきっかけに、私たちの周りの世界を、少しだけ違う眼差しで眺めてみませんか。そこには、きっと新しい墨田の姿が見えてくるはずですよ。

(千葉大学教育学部 教授

神野 真吾)



What's this? すみーくるってなに?



ABOUT

「すみーくる」は一般社団法人墨田区観光協会が管理・運営を行う観光プロモーションカーです。2022年3月で閉店した東京ソラマチ内の観光拠点に代わり、従来のお客様を「迎える」のではなく、直接観光スポットへ出勤し「出迎える」観光案内への転換を図るため観光プロモーションカーというアイデアが生まれました。そして同年7月1日、墨田区役所玄関前にて完成式典を行いました。

すみーくるの愛称は一般公募により、同年10月1日全国190点の応募の中から採用されました。すみだの「すみ」に、車という意味の英語「vehicle（ヴィークル）」の「クル」とすみだに全国から人がやって来るの「来る」をかけた「くる」を合わせたところからこの名前がつけられました。

すみーくるの車体色はベロ藍と呼ばれるブルーを採用。この色は墨田区シティプロモーション

のロゴマークでも使われており、すみだを象徴する印象を与えてくれます。車体デザインの一部には、アートを通じた障がい者福祉「みんな北斎プロジェクト」によるデザインアート「みんな北斎浮世絵巻」を引用し、ユニークな中にもすみだらしさを感じさせるものとなっています。

CONCEPT

すみーくるの活動コンセプトとして、「つたえよう」「みつけよう」「つなげよう」の3つを掲げています。

「つたえよう」は、墨田区内の観光スポットへ出勤し、その場所に応じた観光案内や情報発信をお客様に「伝え」ることを意味しています。

「みつけよう」は、すみーくるが出勤した際に立ち寄っていただいたお客様や、地元の方々などの触れ合いを通じて、その場所の情報を集めて「見つける」ことを意味しています。

「つなげよう」は、区内産品やイベントを紹介し、区内各地域

やお店と観光客とを「繋げ」ることを意味しています。

「これら3つの活動コンセプトを基に、2025年12月時点での約3年間の活動でご案内したお客様は、約1万7千人にもほります。その中には外国人観光客も約2千人含まれます。

主な活動拠点としては、墨田区立公園で開催されるイベントの他、区内の各美術館・博物館、寺社、区立公園、大型商業施設などがあります。地域に密着した活動として、ある商店街イベントに出演する鼓笛隊や盆踊りの先導車として参加した他、地域イベントに出勤した際には区内の銘菓も販売し、遠方で買いに行けないお客様からご好評をいただきました。他にも墨田区外イベントや施設からの出勤要請にも積極的に応じ、プロモーションを行っています。

OUTLOOK

活動開始から約3年間で蓄積された情報のノウハウを基に、これからもお客様とコミュニ

ケーションを取りながらプロモーション活動を継続していきます。それ以外にも、近年は海外旅行者も多くなり、すみーくるへ立ち寄る外国人観光客も年々増えてきているので、外国語のチャシヤパンフレットの充実を図る他、スタッフの語学スキルアップにも力を入れています。

これからも墨田区のいろいろな場所へ出向き、お客様と触れ合い、すみーくるの認知度を高めていくことがわたしたちの変わらない目標です。

(一般社団法人 墨田区観光協会)

